年度	会計	区分	所属
〈2012〉	〈1〉	〈1-1-1-1〉	〈21〉

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	議会事務全般

所管課	議会事務局

事業の目的	宇陀市議会議員による国土交通大臣への陳情旅費 ただし、常任委員会視察と併せた日程とし、宿泊費のみ 増額する

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	議会費
項	1	議会費
目	1	議会費
細目	1	議会費

根拠条例等	
総合計画	

H24年度 事業の概要

予算概要　旅費増額(宿泊費のみ)　204千円
議員・費用弁償　12,000千円×15人＝180千円
事務局・普通旅費　12,000千円×２人＝24千円

人件費	114,150	→	人件費	114,150
旅費	1,972		旅費	2,176
議長交際費	750		議長交際費	750
議会議事録作成	720		議会議事録作成	720
政務調査費	5,400		政務調査費	5,400
負担金等	773		負担金等	773
その他の経費	1,100		その他の経費	1,100
合計	124,865		合計	125,069

事業の成果

名阪国道の迂回路整備として、中和幹線終点から三重県名張市の区間が改良されることになれば、物流経済の安定と、緊急輸送道路としての機能をもち、更には、中部地方や大阪方面からの観光道路となり、沿線地域の活性化にもつながることから、要望する。

財源の内訳	（単位：千円）
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	204
補正額	A 204
H24 補正前予算額	B 1,972
H24 現計予算額	A＋B 2,176

事業の目標

上記を国土交通大臣に要望する。

特定財源の状況

備考

年度	会計	区分	所属
〈2012〉	〈1〉	〈2-1-1-1〉	〈42〉

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］（案）事業別シート

事業区分	継続	事業名	退職者に伴う退職手当特別負担金

所管課	人事課	（総務部）

事業の目的	平成24年8月末及び9月末退職者5名の退職手当特別負担金

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	1	一般管理費
細目	1	本庁一般管理費

根拠条例等	
総合計画	

H24年度事業の概要	退職手当特別負担金：8月末退職者2名（勧奨退職1名、普通退職1名） 9，097千円、9月末退職者3名（勧奨退職3名） 21，885千円
事業の成果	

財源の内訳 （単位：千円）		
分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		
その他		
一般財源		30,982
補正額	A	30,982
H24 補正前予算額	B	39,483
H24 現計予算額	A＋B	70,465

事業の目標	
備考	

特定財源の状況

年度	会計	区分	所属
〈2012〉	〈1〉	〈2-1-1-1〉	〈41〉

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］（案）事業別シート

事業区分	新規	事業名	業務事故賠償金

所管課	総務課	（総務部）

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	1	一般管理費
細目	1	本庁一般管理費

事業の目的

業務事故に伴う賠償金支払い

市が賠償責任や損害賠償の支払い責任を負った場合に、その支払い分の補填を受ける。また、これに伴う保険金請求等の事務手続きを行う。

根拠条例等	地方自治法第96条第1項12号及び第13号
総合計画	

H24年度事業の概要

相手方と和解についての合意内定を受けて、議決後賠償金の支払いと保険金の請求を行う。

（内容）

市道維持管理業務（除草）作業中、草刈機の飛石で通行車両の運転席側のガラスを破損させた事故の賠償金　19,582 円

事業の成果

保険会社から損害賠償金の補填を受ける。

財源の内訳 （単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		20
一般財源		
補正額	A	20
H24 補正前予算額	B	231
補正後予算額	A＋B	251

事業の目標

保険会社から損害賠償金の補填を受ける。

特定財源の状況

諸収入
雑　入
雑　入
雑　入　　20

全国町村会総合賠償補償保険金

備考

平成 24 年度 宇陀市 一般会計　補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	公有財産DB化及び公有財産システム化業務

所管課	管財課	(総務部)

事業の目的	新地方公会計制度の基準に対応するため、市が保有する公有財産に関する土地・建物を調査整理するとともに、公有財産をデータベース化することにより適正な公有財産管理を行うことを目的とする。 また、本業務で実施する公有財産に関する調査整理を行うための人員を、新規雇用者で実施することにより、雇用の創出を行うことを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	3	財産管理費
細目	1	本庁財産管理費

根拠条例等	・地方行革新指針(H18年8月)　・総務省「公会計の整備推進について」(H19年10月)
総合計画	第6章　第4節　行財政改革の推進　(2)健全な財産運営

H24年度事業の概要	適正な公有財産管理を行うことを目的に、市が保有する公有財産に関する情報を洗い出し、必要なものについては現況確認を行いながら、一元的なデータベースを構築する業務を委託する。 さらに平成25年度においては、新地方公会計制度の基準に対応できる公有財産の管理システムを構築する。 業務については、緊急雇用創出事業を活用する。 【H24年度】 委託料　9,338千円 (内 人件費　8,526千円、 内 新規雇用者 4,960千円) 【H25年度】 委託料 16,026千円 (内 人件費 14,886千円、 内 新規雇用者 8,400千円)
事業の成果	市が保有する公有財産の一元的なデータベースを構築することにより、資産ごとに再調達価格や耐用年数が把握でき、新地方公会計制度や適切な施設管理に対応することができる。

財源の内訳　(単位:千円)	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	9,337
市　債	
その他	
一般財源	1
補正額	A　9,338
H24 補正前予算額	B
H24 現計予算額	A＋B　9,338

事業の目標	市の保有する公有財産のDB化をすることにより、新地方公会計制度の基準に対応する適切な公有財産管理を行う。 また、新規雇用者等で業務を実施することにより、雇用の創出を行う。
備考	

特定財源の状況

緊急雇用創出事業特別交付金
9,337千円 (H24年度)

※(H25年度) 16,026千円

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	基金積立(造成)事業

所管課	財政課	(企画財政部)

事業の目的	普通交付税の合併算定替え終了による財源不足額や、将来の財政負担に備えるため基金を造成。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	3	財産管理費
細目	1	本庁財産管理費

根拠条例等	宇陀市財政調整基金条例
総合計画	

H24年度事業の概要	後年度において財源不足を生じたときの調整財源として、財政調整基金に積み立てる。 財政調整基金積立金　300,000千円

事業の成果	基金残高の年度末見込み

基金名	平成23年度末	平成24年度末見込み
財政調整基金	1,371,933	1,673,966

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		300,000
補正額	A	300,000
H24 補正前予算額	B	2,033
H24 現計予算額	A＋B	302,033

事業の目標	財政調整基金は、標準財政規模の10%が概ねの目安であり、すでに達成できているが、将来の財政負担に備えて基金造成を行う。

備考	

特定財源の状況

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	定住促進奨励事業

所管課	まちづくり支援課 (企画財政部)
事業の目的	市内経済の活性化を図るとともに、市の人口増加と定住化及び自治会の活性化による活力あるまちづくりを推進するため、市内に定住を目的として住宅取得した者に奨励金を交付する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

根拠条例等	「宇陀市経済対策としての定住促進奨励金交付要綱」
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築 (2)定住環境の整備

H24年度事業の概要

昨年度からの新事業として、市内に定住を目的として住宅取得(新築か購入)し、自治会加入などの要件を満たす対象者に奨励金を交付している。

対象者	現金
転入者	10万円
世帯を残した転居者	10万円

H24年7月以降は、「世帯を残した転居者」を「市民」にまで対象を拡げ、「ウッピー商品券」により交付を行う。

対象者	商品券
転入者	10万円分
市民	5万円分

また、転入世帯の自治会への積極的な加入は地域活力の維持に繋がっている。

事業の成果

24年度実績(4月～6月末)

〔単位:千円〕

対象者	件数	金額
転入者	17	1,700
世帯を残した転居者	4	400
合計	21	2,100

財源の内訳 (単位:千円)

分担金		
使用料		
国 費		
県 費		2,720
市 債		
その他		
一般財源		▲ 720
補正額	A	2,000
H24 補正前予算額	B	4,000
H24 現計予算額	A＋B	6,000

事業の目標

対象者に商品券を交付することで市内消費を促し、地域で経済が流通する仕組みを作る。また、本制度で空き家情報バンクに強みを持たせ、空き家の有効活用と転入者の増加を図る。

市の現状として、転入者より転出者の方が多い。H23年度はこの幅が縮まり一定の効果が認められるものの、まだ年間200人以上のひらきがあり、これを同数にできるように定住促進を展開していく。

特定財源の状況

活力あふれる市町村応援補助金:2,720千円
(補正要求額にかかる分のみ記載)

備考

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］（案）事業別シート

事業区分	新規	事業名	住宅建築工事・リフォーム工事助成事業

所管課	まちづくり支援課 （企画財政部）
事業の目的	市内の住宅関連業者の育成・支援と、市民の居住環境の向上による定住促進を図るため、市内業者を利用して住宅の建築又はリフォーム工事を行う市民に助成を行う。助成については、現金でなく市内で利用できる「ウッピー商品券」を交付することにより、さらに市内商店の活性化支援を目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

根拠条例等	宇陀市経済対策としての住宅工事・リフォーム工事助成事業に関する要綱
総合計画	基本計画 第5章第2節 商工業の活性化 （1）地域商業の育成・支援 （2）商店街の活性化支援

H24年度事業の概要	市内業者を利用して住宅の建築又はリフォーム工事を行う市民に、上限10万円分の「ウッピー商品券」を交付する。
事業の成果	当該制度が創設されたことから、市民の関心とともに、市内における建築関連業者の営業活動が活発となり、リフォーム工事等が増加していると考えられる。8月で、25件を超える事業申請を受け付けており、見積もり段階で1億円以上の効果額を算出しているが、さらに建築関係全体への幅広い効果をあげていく必要性がある。 また市民生活の基礎となる住宅への投資により、市の基盤の脆弱化を防ぎ、定住の促進効果が期待される。 さらに、本事業により交付される「ウッピー商品券」が、今後市内の商店等で消費されることから、更なる市内経済の活性化が期待される。

財源の内訳 （単位：千円）

分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		
その他		
一般財源		3,000
補正額	A	3,000
H24 補正前予算額	B	3,000
H24 現計予算額	A＋B	6,000

事業の目標	本事業により、市民と市内業者との繋がりが生まれると共に、今後も良好な関係が維持され、住宅関連工事が市内業者に発注されることが目標である。 さらに、「ウッピー商品券」の利用により、市民の市内消費が促進され、市内経済を活性化させることを目標とする。
備考	

特定財源の状況

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	市民税等課税更正還付金

所管課	税務課	(企画財政部)

事業の目的	個人市民税及び法人市民税等の課税更正に伴い還付金の支払いを行うもの。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	2	徴税費
目	2	賦課徴収費
細目	1	本庁賦課徴収費

根拠条例等	地方税法、宇陀市税条例 等
総合計画	

H24年度事業の概要	節 23 償還金、利子及び割引料 細節 31 課税更正還付金 当初予算額 6，000千円 執行済額 6，000千円 補正額 3，000千円
事業の成果	

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		
その他		
一般財源		3,000
補正額	A	3,000
H24 補正前予算額	B	6,000
H24 現計予算額	A＋B	9,000

事業の目標	
備考	

特定財源の状況

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	農業委員会委員選挙

所管課	選挙管理委員会事務局 （総務部総務課内）
事業の目的	宇陀市農業委員会委員の任期満了（平成24年7月19日）に伴い執行するもの。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	4	選挙費
目	2	農業委員会委員選挙費
細目	1	農業委員会委員選挙費

根拠条例等	農業委員会等に関する法律第9条により準用する公職選挙法
総合計画	

H24年度事業の概要	○ 選挙による委員の定数 29人 ○ 選挙人名簿登録者数 3,778人 ○選挙日程 ・6月20日 立候補予定者説明会 ・6月26日、27日 立候補届出事前審査 ・7月1日 告示日、立候補届出 ・7月8日 選挙期日 ・7月9日 選挙会、当選証書付
事業の成果	立候補届出者が29人であり、無投票となったため、投開票事務を行わなかった。

財源の内訳 （単位：千円）

分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		
その他		
一般財源		▲ 4,514
補正額	A	▲ 4,514
補正前予算額	B	4,621
補正後予算額	A＋B	107

事業の目標	農業委員会等に関する法律及び公職選挙法に則り、公正かつ適正に選挙を執行する。
備考	

特定財源の状況

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	共同浴場解体事業

所管課	人権推進課	（市民環境部）

事業の目的	平成24年6月29日に廃止した宇陀市共同浴場を解体する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	8	人権交流センター費
細目	80	室生地域事務所人権交流センター費

根拠条例等	宇陀市共同浴場条例を廃止する条例
総合計画	

H24年度事業の概要

共同浴場を解体するため解体工事を発注する必要があるが、仕様書作成のための事前準備として設計図書作成、積算及び事前の調査

石綿調査・浄化槽汲取り	400
設計委託料	2,100
合　　計	2,500

事業の成果

解体工事を発注するための、予算執行、入札執行のための根拠資料を得る。

財源の内訳 （単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,500
補正額	A 2,500
H24 補正前予算額	B
H24 現計予算額	A＋B 2,500

事業の目標

予算執行、入札執行のための設計積算資料、設計図書

特定財源の状況

備考

平成 24 年度 宇陀市 一般会計　補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	定期予防接種事業

所管課	健康増進課	(健康福祉部)

事業の目的	定期予防接種の不活化ポリオ、DPT(三種混合)、DPT-P(四種混合)を集団接種から個別接種に移行することによる、予防接種委託料の不足分について補正増額するもの

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	予防接種法
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要

24年9月より定期予防接種のポリオワクチンが生ワクチンから不活化ワクチンに変更され、2回経口接種から4回皮下接種となり、接種回数が増える。11月からは不活化ポリオと三種混合ワクチンの混合ワクチンとしてDPT-P(四種混合ワクチン)が導入される予定。 他に任意予防接種のヒブワクチン、小児用肺炎球菌の接種補助もあり、接種を希望する人は多い。以上のことから乳児期に接種する予防接種が多く、集団接種では接種間隔を考慮し、標準的な接種期間で接種することが困難になることから、24年9月から不活化ポリオ、11月からはDPT-P、DPTワクチンを個別接種としていく。

本庁予防費	医薬材料費	△ 670,000円
	委託料	8,988,000円
大宇陀予防費	報償費	△ 180,000円
室生予防費	報償費	△ 288,000円
合　計		7,850,000円

事業の成果

個別接種にすることで
＊　月1回の集団接種よりも、標準的な接種期間で、児の体調に合わせて接種することができる。
＊　現在、任意予防接種であるヒブワクチン、小児用肺炎球菌は個別接種であり、他の予防接種との間隔を考慮し、接種スケジュールを考えやすい。
＊　養育者の就労が増加し、夕方の診療を希望する保護者が多い。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		7,850
補正額	A	7,850
H24 補正前予算額	B	50,524
H24 現計予算額	A＋B	58,374

事業の目標

予防接種の実施によって伝染のおそれのある疾病の発生及び蔓延を予防し、公衆衛生の向上及び増進を図る。

特定財源の状況

備考

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	予防接種健康被害救済給付金

所管課	健康増進課	(健康福祉部)

事業の目的	予防接種法に基づく予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、健康被害を受けた人を救済することを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	予防接種法・宇陀市予防接種健康被害調査委員会要綱
総合計画	基本計画 第2章第1節 健康づくりの推進

H24年度事業の概要	予防接種健康被害救済給付金 ポリオワクチン接種による健康被害者 2名(1級1名・3級1名) 当初予算時 障害年金3級対象者が1級に等級変更となったため、障害年金の額変更による (H24.5.31通知 H23.3.16認定) 障害年金1級 平成24年度分障害年金当初予算差額 1,934千円 平成22・23年度分障害年金差額 2,038千円 障害年金・医療手当 平成24年額改定による差額 △20千円
事業の成果	予防接種による健康被害者の救済を図る。
事業の目標	予防接種による健康被害の救済を図るとともに、これらの救済措置を講じることにより、接種者及び被接種者の予防接種に対する信頼を確保し、制度の安定を図る。
備考	障害年金 H24年額 H23年額 1 級 4,860,000円 4,876,800円 3 級 2,916,000円 2,926,800円 医療手当 427,200円 428,400円

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国 費		
県 費		2,963
市 債		
その他		
一般財源		989
補正額	A	3,952
H24 補正前予算額	B	8,781
H24 現計予算額	A＋B	12,733

特定財源の状況
予防接種事故対策費負担金 県負担金3/4(国1/2 県1/4)

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	自殺対策緊急強化事業

所管課	健康増進課 （健康福祉部）
事業の目的	①こころの悩み相談・・・こころの悩みがある人に対し、気軽に相談できる場を提供し、早期発見、早期治療につなげると共に、関係機関と連携し支援することを目的とする。 ②普及啓発事業・・・・・保健福祉サービス一覧表を配布し、相談機関等の周知を図ると共に、うつ予防のパンフレットを配布し、早期発見、早期治療につなげることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	1	本庁保健健康づくり費

根拠条例等	自殺対策基本法
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要	①こころの悩み相談・・・臨床心理士による相談業務を年3回行う。 ・報償費　28,000円×3回＝84,000円 ②啓発普及事業・・・「こころの健康づくり学習会」や「こころの悩み相談」、関係機関（民生児童委員、健康づくり推進員、食生活改善推進員、商工会)を通じ、市民への普及啓発を行う。 ・需用費　印刷製本費　（保健福祉サービス一覧表） 140円×500部×1.05＝73,500円 ・図書購入費（ストレスケアガイドブック） 80円×200部×1.05＝16,800円
事業の成果	①こころの悩み相談・・・こころの悩みについて、より専門的な相談が必要な人に対し、臨床心理士が相談業務を実施することにより、相談者の不安を軽減させ、関係機関につなげて支援する。 ②普及啓発事業・・「保健福祉サービス一覧表」を配布することにより、困った時に相談してもらう窓口等を周知する。また、うつ予防パンフレットを配布することにより、うつ病は身近な問題であることを認識し、過度なストレスがうつ病の原因になることや、発症しても治療できる病気であることを周知する。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		174
市　債		
その他		
一般財源		1
補正額	A	175
H24 補正前予算額	B	30
H24 現計予算額	A＋B	205

事業の目標	こころの病気についての知識や予防法を広く啓発し、趣味や楽しみをもちながら、安心していきいきと生活できる環境づくりをする。
備考	

特定財源の状況

自殺対策緊急強化事業補助金
県補助金　100/100

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	病院事業特別会計出資金

所管課	健康増進課	(健康福祉部)

事業の目的	病院事業に係る一般会計出資金 宇陀市立病院の新築と医療体制の充実

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	7	病院費
細目	1	病院費

根拠条例等	地方公営企業法第17条の3
総合計画	基本計画　第2章第2節　地域医療体制の充実

H24年度事業の概要	市民の命と健康を守る宇陀市立病院の新築、医療機器の更新に対する出資 新病院建設工事の完成予定が、平成24年度(平成25年1月)から、平成25年度(平成25年4月)に延長されたことにより、平成24年度分一般会計出資金の基準額(合併特例債)変更と全体事業費の減額による。 当初予定額　1,664,000千円×1/4＝416,000千円 変更見込額　1,297,342千円×1/4＝324,356千円
事業の成果	市立病院の新築及び、医療機器の更新を行い、市立病院の整備を図る

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		▲ 91,700
その他		
一般財源		56
補正額	A	▲ 91,644
H24 補正前予算額	B	416,000
H24 現計予算額	A＋B	324,356

事業の目標	本市や奈良県東部地域における医療体制の充実など、安心できる医療環境づくりを進めるため、市立病院の整備を図る
備考	

特定財源の状況
合併特例債　▲91,700千円

平成 24 年度 宇陀市 一般会計　　補正予算［第 2 号］（案）事業別シート

事業区分	継続	事業名	農地・水保全管理支払交付金事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

農地・農業用水等の資源は、農村の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、適切な保全管理が困難となっている。また、農地・農業用水等の保全に際しては、市民の多面的機能への要請や価値観の変化等への対応が必要である。加えて農地周りの農業用用排水路等施設の老朽化への対応のため、地域主体の保全管理の取組を強化し、地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理活動と、その一環として行う農村環境保全活動に加え、農地周りの農業用用排水路等施設の長寿命化や水質・土壌等高度な保全のための取組に対して支援する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	9	農地・水保全管理支払交付金事業

根拠条例等	農地・水保全管理支払交付金実施要綱　平成24年4月6日23農振第2342号
総合計画	基本計画　第5章第1節（1）農業生産基盤の整備

H24年度 事業の概要

共同活動
　計・・・22組織　交付金11,154,660円(内市負担金2,789千円)
向上活動
　計・・・12組織　交付金7,727,000円(内市負担金1,932千円)

合計・・・・・・・・・ 交付金18,881,660円(内市負担金4,721千円)

事業の成果

○共同活動支援事業（集落の草刈り、道路・水路の補修、農業施設の基礎的な保全管理活動や、生物多様性保全、景観形成などの農村環境保全のための活動）
　大宇陀…7組織
　菟田野…1組織
　榛　原…7組織
　室　生…7組織
　合　計…22組織
●向上活動支援事業（主に農地周りの水路、農道、ため池などの施設の老朽化部分の補修や、機能維持及び回復のための更新等を行う活動）
　大宇陀…4組織
　榛　原…4組織
　室　生…4組織
　合　計…12組織

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		634
補正額	A	634
H24 補正前予算額	B	4,229
H24 現計予算額	A＋B	4,863

事業の目　標

本対策に取り組むことにより、地域ぐるみで効果の高い共同活動及び農業者ぐるみでの先進的な営農活動の実施主体として、社会共通資本としての農地・農業用水等の資源を農村環境の保全等にも役立つよう、地域の振興に資するものとする。平成24年度からは、集落を支える体制の強化や仕組みの簡素化を図り、新たに、施設の長寿命化を図る向上活動支援事業を加え、平成28年度までの対策として継続する。

特定財源の状況

備考

平成 24 年度 宇陀市 一般会計　補正予算［第 2 号］（案）事業別シート

事業区分	継続	事業名	宇陀市地域で育む里山づくり事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

NPOやボランティア等の地域団体の力で、市街地近郊や民家周辺の荒廃した里山林を整備し、その機能回復を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	88	地域で育む里山づくり事業費

根拠条例等	宇陀市地域で育む里山づくり事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第1章第1節（1）　第3章第1節（1）　第3章第5節（2）　第5章第1節（7）

H24年度事業の概要

新たに利活用補助が創設され、幼竹刈払の一部と危険木伐採が不要となったため。

	補助単価	当初事業量	補正後事業量	当初事業費	補正後事業費
侵入竹林皆伐	269,700	0.40	0.40	107,880	107,880
幼竹刈払	173,400	0.97	0.47	168,198	81,498
危険木伐採	55,650	1.00	0.00	55,650	0
機材整備	28,000	4.00	4.00	112,000	112,000
利活用					200,000
事務費				30,000	29,622
合計				473,728	531,000

室生向渕への補助金　365,000円
室生大野への補助金　137,000円

事業の成果

平成19年度　室生向渕地区里山機能回復0.30ha
平成20年度　室生向渕地区里山機能回復0.36ha
平成21年度　室生向渕地区里山機能回復0.13ha
平成23年度　室生向渕地区里山機能回復0.56ha
　　室生大野地区里山機能回復0.50ha

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	57
市　債	
その他	
一般財源	1
補正額	A　58
H24 補正前予算額	B　474
H24 現計予算額	A＋B　532

事業の目標

NPOやボランティア等の地域団体の力で、市街地近郊や民家周辺の荒廃した里山林を年3回以上の活動量により整備し、その機能回復を図り、里山の所有者や地域の住民とともに年1回以上の利活用を行う。

特定財源の状況

県委託金（補助率100%）
　地域で育む里山づくり事業委託金
　　57千円

備考

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］（案）事業別シート

事業区分	新規	事業名	（通称）ウッピー商品券発行委託事業（財源更正）

所管課	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的	定住促進奨励金制度、住宅リフォーム助成制度、住宅用太陽光発電システム設置補助金制度、宇陀市産木材利用促進助成制度の利用者に対し、市内事業者にのみ有効な宇陀市内流通商品券を発行し、市内における購買活動の増進、内需振興を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第2節　商工業の活性化

H24年度事業の概要	委託先：宇陀市商工会 市内流通商品券発行予定数：20,000枚（10,000,000円分） 予算概要

商品券等印刷費	1,341
郵送料	150
事務費	941
雑費	200
合計	2,632

事業の成果	宇陀市限定の商品券を交付することで、宇陀市内の商工業振興がはかれる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	1,754
市　債	
その他	
一般財源	▲ 1,754
補正額	A
H24 補正前予算額	B　2,632
H24 現計予算額	A＋B　2,632

事業の目標	宇陀市内流通商品券の発行により、購買活動を増進し、市内の地域経済の活性化を図る。

特定財源の状況
県費（活力あふれる市町村応援補助金） 1，754千円

備考	補助対象事業費：2,632千円 補助率：2/3

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	記紀万葉推進事業(財源更正)

所管課	商工観光課 (農林商工部)
事業の目的	平成24年は「古事記」が完成して1300年、さらに平成32年は「日本書紀」が完成して1300年となり、奈良県ではこれらの歴史素材を活用した施策を推進している。宇陀市においても、記紀万葉プロジェクト推進庁内会議を立ち上げ、県とも連携し、記紀万葉集を関連づけた事業を展開し、誘客を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	6	記紀万葉推進事業
細目	1	記紀万葉推進事業

根拠条例等	
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興 観光基盤の整備

H24年度事業の概要	○ホームページ作成費用・・・800,000円 ○パンフレット・ルートマップ等刊行物作成費用・・・1,400,000円 ○記紀万葉ウォーク・・・80,000円 ○イベント保険・・・20,000円 ○貴重な歴史遺産等の展示ケース及び記紀万葉講演会・・・1,700,000円 ○PR用シール作成及びキャラクター作成費・・・1,000,000円 ○絵画作成報償費・・・300,000円
事業の成果	身近に広がる古代をテーマに宇陀の魅力を再発見し、宇陀市の活性化や地域経済の振興を図る。
事業の目標	宇陀の記紀万葉について、職員及び市民に周知し、意識を高めていく。 平成24年11月、二週間にわたり、文祢麻呂の骨壷等のレプリカや壁画などを展示、また記紀万葉ウォーキングの開催や、講演会、宇陀の記紀万葉をPRし、誘客を図る。
備考	補助対象事業費:2,880千円 補助率:2/3

財源の内訳 (単位:千円)

分担金	
使用料	
国 費	
県 費	1,920
市 債	
その他	
一般財源	▲ 1,920
補正額	A
H24 補正前予算額	B 5,300
H24 現計予算額	A＋B 5,300

特定財源の状況

県費(奈良県南部振興プロジェクト推進補助金) 1，920千円

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	道路維持事業　道路舗装等維持補修工事

所管課	建設課	(建設部)

事業の目的	市道1，685路線、総延長745kmの内、特に生活と密着した道路の除草行い、生活環境の改善、道路の安全性の確保及び利便生の向上を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
細目	1	道路維持費

根拠条例等	道路法第42条(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画　第3章第2節　(2)生活道路の整備　道路の安全性・利便性の向上

H24年度事業の概要	法面環境保全委託料 除草作業　9箇所、面積A＝14，800㎡
事業の成果	住宅密集地内の市道法面を除草し、地域の生活環境の改善及び道路の保全を行う。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		1,848
市　債		
その他		
一般財源		1
補正額	A	1,849
H24 補正前予算額	B	76,668
H24 現計予算額	A＋B	78,517

事業の目標	住宅地域内の除草作業を計画的に行い、地域の生活環境の改善、生活道路の保全を行う。
備考	

特定財源の状況

緊急雇用創出事業特別交付金
1,848千円

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	宇陀市消防団員安全装備品整備事業

所管課	危機管理課	(総務部)

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	2	非常備消防費
細目	1	本庁非常備消防費

事業の目的

消防団の装備については、小型ポンプや積載車をはじめとして年々進歩し、消防防災活動については大きな力となっている。
こういった装備の進化とはうらはらに、消防団員自身の安全を確保する装備の整備に遅れが生じている。
消防団員の安全装備品を整備することにより、消防団員の公務災害を防ぎ、団員の安全を確保することを事業の目的とする。

根拠条例等	
総合計画	３－５「安全・安心な暮らしの実現」 防災・消防体制の確立

H24年度 事業の概要

水防活動に従事する消防団員の安全を確保するため、県の「消防団員安全装備品整備等助成事業助成金」を活用して、救命胴衣の配備をおこなう。

○平成24年度配備予定数量
　1部あたり2着
　2着×60部＝120着

事業の成果

消防団員の活動は火災の消火活動のみならず、風水害時の避難誘導や増水河川での水防活動も重要な任務である。
宇陀市消防団は宇陀川や芳野川などの1級河川を管轄しており、出水時には巡回警備などを実施している。宇陀市合併後は、幸いにして大規模な豪雨災害時の避難誘導事案や増水河川での水害予防活動事案も発生していない。
しかし、近年はゲリラ豪雨と称される大雨災害が多発しているにもかかわらず水防活動に従事する消防団員の安全は十分に図られているとは言い難いため、救命胴衣の配備をおこなうことにより、水防活動時の消防団員の安全を確保が可能となる。

財源の内訳 (単位:千円)

分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		
その他		388
一般財源		110
補正額	A	498
H24 補正前予算額	B	2,922
H24 現計予算額	A＋B	3,420

事業の目標

消防団員の安全確保としての救命胴衣の整備については、県の助成金予算との関係もあるため、最終的に1部あたり10着程度の装備を目標として継続した配備をおこなう。

特定財源の状況

消防団員安全装備品整備等助成事業助成金
388千円

備考

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	宇陀市要援護者台帳デジタル化等業務事業

所管課	危機管理課	(総務部)

事業の目的	市管理の災害時要援護者台帳等の紙資料、個々の管理データについて、統一したGISデータを作成し、地理情報と台帳情報を一元管理する仕組みを構築する。また、消火栓、洪水・地震ハザードマップ情報、避難所ほか防災に関係する情報とも一元管理する。 このことにより今後の避難計画や要援護者の支援計画検討の基礎情報として役立てる。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	3－5「安全・安心な暮らしの実現」 防災・消防体制の確立

H24年度事業の概要	当課保管の災害時要援護者の紙資料、各課がシステム管理する情報等防災に関係する情報を一元管理するため、県の「緊急雇用創出事業・震災等緊急雇用対応事業」を活用して、平成24～25年度で統一したGISデータを作成する。 【平成24年度事業費】 委託料：合計5,939千円 （内訳）人件費4,949千円、その他990千円 【平成25年度事業費】 委託料：合計6,015千円 （内訳）人件費5,013千円、その他1,002千円
事業の成果	災害時要援護者情報は紙資料の為、登録者の異動（死亡、転入・転出）等の管理、関係者への情報提供や共有が容易にできる。 さらに、災害時要援護者の紙資料、消火栓、洪水・地震ハザードマップ情報、避難所等の防災に関係する情報と各課がシステム管理するデータを「災害時要援護者支援システム」で統一したGISデータを作成し、地理情報と台帳情報を一元管理する仕組みを構築することで、今後の避難計画や要援護者の支援計画検討、高齢者等の平常時の見守りの基礎情報として役立てることができる。

財源の内訳 （単位：千円）

分担金		
使用料		
国 費		
県 費		5,939
市 債		
その他		
一般財源		1
補正額	A	5,940
H24 補正前予算額	B	
H24 現計予算額	A＋B	5,940

事業の目標	今回導入予定の「災害時要援護者支援システム」を「市グループウエア」に接続し、危機管理課、介護福祉課、厚生保護課、地域事務所、市民課、社会福祉協議会(地域包括支援センター)等関係部署が平常時から情報共有することで、平常の要援護者の見守り等から災害時発生時の避難支援等まで役立てる。
備考	

特定財源の状況

緊急雇用創出事業特別交付金
5,939千円

※【参考】
平成25年度事業費 6,015千円

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	ぬくもり修学奨励資金支給事業

所管課	教育総務課	(教育委員会事務局)

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

事業の目的	修学困難な生徒に対し修学奨励を図るため、高等学校、大学等の入学支度金として支給する。
根拠条例等	宇陀市ぬくもり修学奨励資金支給要綱
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実
H24年度事業の概要	対象・・・次のすべての要件を満たす者 ・市内に住所を有する者で、市民税非課税世帯であるもの ・高等学校等・大学入学者 ・向学心に富み、将来のまちづくり活動に積極的に取り組む意欲がある者 入学支度金の支給(負担金、補助及び交付金) 高等学校または専修学校・・・60，000円×16人 大学または高等専門学校・・・120，000円×9人
事業の成果	修学困難な生徒に対し、修学奨励として入学支度金を支給したことにより、教育環境づくりができた。
事業の目標	市の将来のまちづくり活動に取り組み意欲をもってもらい、市の将来を担っていただく。
備考	

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		
その他		
一般財源		540
補正額	A	540
H24 補正前予算額	B	1,500
H24 現計予算額	A＋B	2,040

特定財源の状況

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算 [第 2 号](案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	文化財公開施設管理・活用事業

所管課	文化財課	(教育委員会事務局)

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	7	緊急雇用創出事業費

事業の目的

宇陀市内の文化財公開施設の管理業務および見学者への案内業務を行い、当施設の管理・活用を行う。

根拠条例等	奈良県緊急雇用創出事業補助金交付要綱
総合計画	第5章第3節 歴史文化資源の保全と活用 (1)文化財の保護・活用

H24年度事業の概要

直接実施事業
新規雇用者を公募し、文化財公開施設(あぶらや、千軒舎、薬の館)の管理業務および案内業務等を行う。

事業の成果

本事業は、平成22年度6月補正から断続的に実施している。
文化財公開施設(あぶらや、千軒舎、薬の館)において、管理業務および案内業務を行い、見学者への利便性を高めるとともに失業者(1～2人・120人日)の雇用を図る。

財源の内訳 (単位:千円)	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	760
市 債	
その他	
一般財源	1
補正額	A 761
H24 補正前予算額	B
H24 現計予算額	A+B 761

事業の目標

文化財公開施設(あぶらや、千軒舎、薬の館)の管理・活用を行う。

特定財源の状況

緊急雇用創出事業特別交付金
760千円

備考

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算 [第 2 号](案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	文化財関係図書データベース作成事業

所管課	文化財課	(教育委員会事務局)

事業の目的	所蔵する文化財関係図書約17,000点の図書抄録を入力し、図書台帳の再構築を行う。 各図書の検索を容易にするデータベースを作成し、図書の公開・活用を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	7	緊急雇用創出事業費

根拠条例等	奈良県緊急雇用創出事業補助金交付要綱
総合計画	第5章第3節 歴史文化資源の保全と活用 (1)文化財の保護・活用

H24年度事業の概要	直接実施事業 新規雇用者を公募し、所蔵する文化財関係図書の図書抄録を入力し、図書台帳の再構築を行い、各図書の検索を容易にするデータベースを作成しする。
事業の成果	所蔵する文化財関係図書約17,000冊の検索を容易にするデータベースを作成するとともに、失業者(1～2人・120人日)の雇用を行う。

財源の内訳 (単位:千円)	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	766
市 債	
その他	
一般財源	1
補正額	A 767
H24 補正前予算額	B
H24 現計予算額	A+B 767

事業の目標	所蔵する文化財関係図書の公開・活用を図る。
備考	

特定財源の状況
緊急雇用創出事業特別交付金 766千円

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算 [第 2 号](案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	出土遺物整理事業

所管課	文化財課	(教育委員会事務局)

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	7	緊急雇用創出事業費

事業の目的

委託事業
市内各所の遺跡から出土した遺物の整理作業のうち、詳細な観察および実測図作成等のより専門的な技術が必要な縄文時代・弥生時代の遺物整理作業及び調査報告書作成の外部委託を行う。本作業を通じて縄文土器・弥生土器・石器等の調査・研究を行うとともに縄文時代・弥生時代研究者の育成を図る。
また、本作業の成果は、今後の出土資料活用(展示等)を行う基礎資料とし、埋蔵文化財に対する市民の関心を高め、地域文化の発展を図る資料とし、地域の観光資源にも結びつけていく。

根拠条例等	奈良県緊急雇用創出事業補助金交付要綱
総合計画	第5章第3節 歴史文化資源の保全と活用 (1)文化財の保護・活用

H24年度事業の概要

市内各所の遺跡から出土した遺物の整理作業のうち、詳細な観察および実測図作成等のより専門的な技術が必要な縄文時代・弥生時代の遺物整理作業及び調査報告書作成の外部委託を行う。

事業の成果

本事業は、平成21年度(7月)から直接実施で断続的に実施しており、これまでの整理作業では、縄文土器・弥生土器を中心とする出土遺物の拓本作成作業が終了している。
引き続き整理作業等を継続して行い、今後の出土資料活用(展示等)を行う基礎資料とし、埋蔵文化財に対する市民の関心を高め、地域文化の発展を図る資料とする。
業務委託によって、失業者(3人・315日)、既雇用者(1人・45日)の雇用を行う。

財源の内訳 (単位:千円)	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	5,449
市 債	
その他	
一般財源	1
補正額	A 5,450
H24 補正前予算額	B
H24 現計予算額	A+B 5,450

事業の目標

埋蔵文化財に対する市民の関心を高め、地域文化の発展を図る資料とする。

特定財源の状況

緊急雇用創出事業特別交付金
5,449千円

備考

平成 24 年度 宇陀市 一般会計　補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	宇陀市温水プール修繕事業

所管課	生涯学習課	(教育委員会事務局)

事業の目的	経年劣化及び錆による腐食等で使用できなくなっているキャットウォーク、トップライトの改修並びに鉄骨部の錆止め、塗装等の修繕を行い、建設当初の機能を復活させ、利用者が安全で安心して温水プールの利用ができるよう改修を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	2	体育施設費
細目	63	温水プール費

根拠条例等	
総合計画	

H24年度 事業の概要

事業概要
- キャットウォーク改修
- 鉄骨部等錆止め塗装
- トップライトオペレーター改修
- プールサイト排水溝改修

設計委託料	3,000
工事請負費	11,000
修繕料	1,000
合　計	15,000

事業の成果

利用者が安全で安心して温水プールの利用ができ、水泳の練習及び年齢や体力に応じ気軽に健康増進・維持のための体力づくりを行うことができる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	5,224
一般財源	9,776
補正額	A　15,000
H24 補正前予算額	B
H24 現計予算額	A＋B　15,000

事業の目標

体育施設の整備充実を図り、利用者の増加を目指す。

特定財源の状況

雑入(宇陀市文化スポーツ振興団残余金)5，224千円

備考

平成 24 年度 宇陀市 一般会計　　補正予算［第 2 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	農地・農業用施設災害復旧事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	自然災害により、農地・農業用施設に被害が発生した場合において復旧事業を実施する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	10	災害復旧費
項	1	農林業施設災害復旧費
目	1	農業災害復旧費
細目	1	農業災害復旧費

根拠条例等	
総合計画	

H24年度事業の概要	農地災害復旧工事 (通常災害 国50%、市25%、分担金25%) ・田 1件 1，300千円 農業用施設災害復旧工事(通常災害 国65%、市22．75%、分担金12．25%) ・水路 1件 1，300千円 ・農道 1件 1，700千円 災害査定測量設計業務(単独) ・630千円
事業の成果	農地・農業用施設を復旧することにより、農業経営の安定確保を図る。

財源の内訳 (単位：千円)

分担金		197
使用料		
国 費		
県 費		800
市 債		200
その他		
一般財源		733
補正額	A	1,930
H24 補正前予算額	B	3,000
H24 現計予算額	A＋B	4,930

事業の目標	農地・農業用施設を復旧することにより、農業経営の安定確保を図る。
備考	

特定財源の状況

農地災害復旧事業
補助率 県補助金 50%
市費 25%
地元分担金 25%

農業用施設災害復旧事業
補助率 県補助金 65%
市費 22．75%
地元分担金 12．25%

平成 24 年度 宇陀市 一般会計 補正予算［第 2 号］（案）事業別シート

事業区分	継続	事業名	公共土木施設災害復旧事業

所管課	建設課	（建設部）

事業の目的	災害の速やかな復旧を図り、もって公共の福祉を確保する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	10	災害復旧費
項	2	公共土木災害復旧費
目	1	公共土木災害復旧費
細目	1	本庁公共土木災害復旧費

根拠条例等	公共土木施設災害復旧事業国庫負担法
総合計画	基本計画第3章第2節（2）生活道路の整備　道路の安全性・利便性の向上

H24年度事業の概要	梅雨前線豪雨により市が管理する道路が被災したため、速やかな復旧を行い、地域の生活の安全を確保する。
事業の成果	市が管理する市道において、自然災害により被災したため、速やかに復旧し、地域の生活の安全を確保する。
事業の目標	市が管理する市道において、自然災害により被災したため、速やかな復旧を図る。
備考	

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		14,674
県　費		
市　債		15,900
その他		
一般財源		16,426
補正額	A	47,000
H24 補正前予算額	B	20,000
H24 現計予算額	A＋B	67,000

特定財源の状況

公共土木施設災害復旧費負担金
14,674千円
現年発生補助災害復旧事業債
15,900千円

平成 24 年度 宇陀市 宇陀市営霊苑事業特別会計 補正予算［第 1 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	霊苑事業

所管課	環境対策課	（市民環境部）

事業の目的	宇陀市赤人霊苑は、昭和57年4月に開苑以後、平成15年に拡張工事を行い、全体で1，103区画、4，128聖地の永代使用の公募を行っている。 赤人霊苑は、墓地にとって最も重要な永続性が保証され、永代使用料や年間管理料が比較的安く、使用者が安心して利用できるように霊苑造りを行う。

宇陀市営霊苑事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	霊苑事業費
項	1	霊苑事業費
目	1	霊苑事業費
細目	1	霊苑事業費

根拠条例等	宇陀市営霊苑条例
総合計画	基本計画　第1章第2節　生活環境の整備

H24年度事業の概要	霊苑の使用者が増加するよう、自主放送等を活用するなどの啓発活動を行い使用率の向上を図る。 利用者が安心して使用できるように、墓地の適正な管理及び周辺の清掃等、環境美化を促進する。
事業の成果	平成23年度末使用率は、78．2%で、区画数では862区画の使用となっている。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,660
補正額	A	2,660
H24 当初予算額	B	23,000
H24 現計予算額	A＋B	25,660

事業の目　標	墓地使用者の立場になって管理運営を行い、安心して使用できる霊苑管理を行って行く。又、啓発活動を通じて使用率の向上を目指す。
備考	

特定財源の状況

平成 24 年度 宇陀市 介護保険事業特別会計 補正予算［第 1 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	平成23年度介護保険事業に係る交付金償還

所管課	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的	介護給付費、予防給付費等の精算に伴う、交付金の償還

介護保険事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	諸支出金
項	1	償還金及び還付加算金
目	2	償還金
細目	1	償還金

根拠条例等	介護保険法
総合計画	

H24年度事業の概要	平成23年度支払基金交付金の精算に伴い償還金が発生することによる補正。
事業の成果	償還金内訳 〇支払基金交付金償還金 （受入済額）－（確定額） ・介護給付費交付金870,723,000－861,510,530＝9,212,470円 ・地域支援事業支援交付金6,174,000－4,432,514＝1,741,486円 合計 10,953,956円

財源の内訳 （単位：千円）		
分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		
その他		10,954
一般財源		
補正額	A	10,954
H24 補正前予算額	B	1
H24 現計予算額	A＋B	10,955

事業の目標	
備考	

特定財源の状況
介護給付費準備基金繰入金 10，954千円

平成 24 年度 宇陀市 簡易水道事業特別会計 補正予算［第 1 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	簡易水道施設設備機器修繕

所管課	水道局浄水課 （水道局）
事業の目的	落雷による室生中山台PCタンクテレメーター、室生大野浄水場シーケンサ、室生西部配水池水位計の破損箇所の修繕を行った結果、今後必要な修繕費を確保しなければならなくなった。

簡易水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	1	総務管理費
目	1	総務管理費
細目	1	総務管理費

根拠条例等	
総合計画	

H24年度事業の概要	・テレメーター設備 テレメーター装置 1台 アナログ入力ユニット 1台 デジタル入力ユニット 1台 デジタル出力ユニット 1台 無停電電源装置 1台 機器取替調整費 1式 諸経費 1式 ・シーケンサ設備 各種ユニット 7台 リレーターミナル 6台 専用ケーブル 7本 設計費 1式 現地調査費 1式 取替作業費 1式 試運転調査費 1式 ・水位計設備 発信器 1台 デジタル指示計 1台 調整費 1式 諸経費 1式
事業の成果	落雷によるテレメーターの基盤の焼損部分の取替及びシーケンサの入力状態・工程に応じた出力の状態に不良が生じているためユニットの取替、ソフト再作成、並びに水位計発信器とデジタル指示計の取替をすることで正常に機器を作動させることができるようになる。

財源の内訳 （単位：千円）		
分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		
その他		4,669
一般財源		
補正額	A	4,669
H24 補正前予算額	B	0
H24 現計予算額	A＋B	4,669

事業の目標	設備機器を正常に作動させることにより、安全で安定した水の供給を図る。
備考	

特定財源の状況
全国自治協会建物災害共済金 4，669千円

平成 24 年度 宇陀市 簡易水道事業特別会計 補正予算［第 1 号］(案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	国道370号線野依交差点改良に伴う水道管仮設工事

所管課	水道局工務課 （水道局）
事業の目的	奈良県において、大宇陀野依国道370号線(野依交差点)の改良工事を実施するに当たり、市管理水道管が支障になることから工事実施前に仮設工事を行い、安定した上水の供給を図る。尚、平成25年度において、交差点改良後の国道に本設を予定している。

簡易水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	2	施設整備費
目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費

根拠条例等	道路法第71条第2項第1号
総合計画	安心・安全な水の安定供給を継続する

H24年度事業の概要	仮設工事 レンタル配管 L＝284m(φ100) 不断水割T字管工事 2箇所 不断水ストッパー工事 2箇所 給水工事 3箇所(φ20)
事業の成果	仮設工事を実施することにより、工事中の断水等を未然に防ぎ安定した水の供給が図られる。

財源の内訳 （単位：千円）	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	
市 債	
その他	6,000
一般財源	
補正額	A 6,000
H24 補正前予算額	B
H24 現計予算額	A＋B 6,000

事業の目標	仮設工事を実施することにより、工事中の断水等を未然に防ぎ安定した水の供給が図る。
備考	県事業名：社会資本整備総合整備事業 （道路環境整備）

特定財源の状況
雑入（移設補償費） ： 6，000千円

平成 24 年度 宇陀市 簡易水道事業特別会計 補正予算［第 1 号］(案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	県道上笠間三本松停車場線改良工事に伴う水道管移設工事

所管課	水道局工務課 (水道局)
事業の目的	奈良県において、室生三本松地内県道上笠間三本松停車場線(三本松駅付近)の改良工事を実施するに当たり、市管理水道管が支障になることから工事実施前に仮設工事を行い、安定した上水の供給を図る。尚、平成25年度において、交差点改良後の国道に本設を予定している。

簡易水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	2	施設整備費
目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費

根拠条例等	道路法第71条第2項第1号
総合計画	安心・安全な水の安定供給を継続する

H24年度事業の概要	HPPE φ50 L=113.0m HPPE φ75 L=5.4m HEP φ30 L=79.2m 給水戸数 3戸
事業の成果	工事中の断水等を未然に防ぎ安定した水の供給が図られることから仮設工事を実施するとともに、現在の既設管が民地に埋設していることから管理上、これを機に国道に本設する。

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		5,000
その他		500
一般財源		300
補正額	A	5,800
H24 補正前予算額	B	
H24 現計予算額	A+B	5,800

事業の目標	仮設工事を実施することにより、工事中の断水等を未然に防ぎ安定した水の供給が図る。
備考	仮設費用については県負担、本設部分については市負担

特定財源の状況

雑入(移設補償費) : 500千円
簡水債 : 5,000千円

平成 24 年度 宇陀市 簡易水道事業特別会計 補正予算［第 1 号］(案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	室生三本松元三地区給配水管移設工事

所管課	水道局工務課 （水道局）
事業の目的	室生三本松元三地域において、漏水箇所が不明な給水管が存在しているが、現在露出仮設管において供給している。凍結時までに本設を行い、冬期も含めた水道の安定供給を行う。尚、維持管理上、現在の里道から市道・農道に給水管の移設を行う。

簡易水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	2	施設整備費
目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費

根拠条例等	水道法第15条
総合計画	安心・安全な水の安定供給を継続する

H24年度事業の概要	給水管 PEP L＝374．7m(φ50)、L＝3．7m(φ30) L＝7．5m(φ20) HIVP L＝1．4m(φ30)、L＝1．0m(φ20) L＝0．4m(φ50)、L＝1．5m(φ41)、 空気弁 1基 給水戸数 4戸
事業の成果	老朽管の更新及び市道、農道に埋設することにより維持管理の効率化を図り、安定した水道の供給が図られる。

財源の内訳 （単位：千円）	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	
市 債	8,400
その他	
一般財源	27
補正額	A 8,427
H24 補正前予算額	B
H24 現計予算額	A＋B 8,427

事業の目標	老朽管の更新及び市道、農道に埋設することにより維持管理の効率化を図り、安定した水道の供給が図る。
備考	市道及び農道かまくら線への本設

特定財源の状況
簡水債 ： 8，400千円

平成 24 年度 宇陀市 下水道事業特別会計 補正予算［第 1 号］(案) 事業別シート

事業区分	新規	事業名	国道370号線野依交差点改良に伴う下水道管移設工事

所管課	下水道課	(水道局)

事業の目的	県(宇陀土木)が施工する国道370号線野依交差点の改良工事伴い、当該箇所の下水道管を移設する。

下水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	1	下水道費
目	2	下水道管理費
細目	1	下水道管理費・公共

根拠条例等	
総合計画	

H24年度事業の概要	下水道管移設のための仮設管布設工事 計画概要　工事延長　L＝120m 管口径　φ125mm 事業費　8,000,000円 下水道管移設実施設計業務委託 計画概要　工事延長　L＝40m 管口径　φ100m 事業費　3,500,000円
事業の成果	国道370号線野依交差点の改良工事により、下水道管の移設は避けることのできない状態となっている。下水道管を移設することにより、改良された道路に最も則した形での布設ができる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		10,500
一般財源		1,000
補正額	A	11,500
H24 補正前予算額	B	
H24 現計予算額	A＋B	11,500

事業の目標	国道370号線野依交差点の改良工事に伴う下水道管移設工事を仮設管設置工事、移設工事実施設計そして次年度に本設工事を行うことにより移設完了とする。
備考	本年度は、仮設工事及び本設工事の設計までとし、次年度に本設工事を行う。

特定財源の状況

雑入(移設補償費)　10,500千円

平成 24 年度 宇陀市立病院事業特別会計　　補正予算［第 1 号］(案) 事業別シート

事業区分	継続	事業名	宇陀市立病院建設事業

所管課	市立病院
事業の目的	「地域住民がいつでも安心して必要とする医療サービスを受けられるように、医療水準の維持、向上に努め、愛され、信頼される病院」を基本方針とし、平成25年度の開院を目標に新病院の整備を進める。

予算		
区分	No.	区分名
款	7	資本的支出
項	1	建設改良費
目	3	病院建設事業費
細目		

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第2章第2節　地域医療体制の充実

H24年度事業の概要

建設事業費について、工期が平成25年4月末に延長され、事業内容がほぼ確定したので、事業費総額65億から59億7787万に変更し5億2213万円を減額すると共に、25年度に計上する事業費2億5676万3千円を合わせて減額する。

内　訳　（単位：千円）

	当初予定額	補正予定額	補正後
委託料	88,850	▲17,850	71,000
器具及び備品購入費	315,000	▲157,500	157,500
工事請負費	1,803,693	▲603,543	1,200,150
小計	2,207,543	▲778,893	1,428,650

事業の成果

宇陀市立病院は、開院以来、地域の中核的な医療機関としてその役割を担い、また将来においても地域医療の確保及び医療水準の向上と、課せられた役割と使命には大きなものがある。
しかし、老朽化、狭隘化が顕著になっていることに加え、また今後も超高齢社会の医療需要に対応できる施設・設備の確保など、市民への医療提供のあり方に多くの課題を抱えていた。
そこで、宇陀市の合併に伴う主要政策に位置付け、市立病院整備事業に着手。病院施設及び医療機器を整備することにより、これらの課題を解決することができる。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		▲ 275,000
その他		▲ 91,644
一般財源		▲ 412,249
補正額	A	▲ 778,893
H24 当初予算額	B	2,239,476
H24 現計予算額	A＋B	1,460,583

事業の目標

施設・設備の整備により、快適で利便性の高い院内環境の整備を行う。
医療情報システムの導入により、待ち時間の解消や経営の効率化を図る。

特定財源の状況

資本的収入の企業債275,000千円と出資金91,644千円を減額する。

備考